NIE実践報告

1．タイトル：☆福祉新聞　ただいま編集会議中

2．学校名

長野県長野市立東部中学校

3．実践者名（代表者名）

片山　洋一

4．学年

第3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間

6．単元（本時の学習課題）名

福祉から学ぶ　～命の学習を通して～

7．目標（狙い）

・社会事象に視野を広げ、興味や関心を持ち、考えを深めることができる。
・読み手のことを考えた表現を、工夫して新聞を作ることができる。

8．評価の視点

・自分の興味のある新聞記事を読み、スクラップする。
・グループで協力して新聞作りをする。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

・全18時間中の第16時

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

本時の展開
1.デイサービスの施設で、体験したり初めて知ったりしたことを確認する。
2.友だちやデイサービスの方に見てもらえるよう、新聞製作の続きをする。
　→　課題設定　「伝わることがより伝わる見出しを作ろう」
3.自分たちが書いた新聞記事で伝えたかったことは何か、確認する。
4.実際の新聞の見出しから工夫されていることを見つける。
　(1)10字前後で端的にまとめられている (2)読者をひきつけるインパクトがある (3)問題を投げかけている
5.自分たちの新聞記事に見出しを考えてつける。(グループ活動)
6.作った新聞を見せながら、本時で学んだことを発表する。
7.他のグループの発表を聞き、疑問に思うことや意見をメモし発表する。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

・NIE全国大会での公開授業であったが、生徒たちは伸び伸びと授業に参加していた。学級での仲間やそれまでの取り組みが自信となっていた。作成した新聞は、お世話になったデイサービス施設で掲示してもらい、感想も寄せてもらった。読んでもらえたことが、喜びにつながっていた。

12．成果と課題

・体験があるからこそ、見出しを考える効果が出ていた。実際に、信濃毎日新聞の見出しから、「いい見出し」の手本とその効果を学習し、話し合いの中から自分たちの見出しを見直す学習が成立していた。また、生徒たちが書いた記事の内容が充実していた。グループ学習では、お互いの考えの良さを知るよい学習の場となっていた。見出しの例として夕刊を取り上げたことも生徒たちには有効であった。一面の記事の数がそれほど多くなく、見出しや割付を参考にするには適していた。一方、話し合いが活発にできていないグループもあった。リーダー育成と共に、教師の適切な助言も必要であった。